## 病院概要

**◆診療科目**

内科・小児科

**◆病床数**（105床）

| | |
|---|---|
| 一般病床 | 10床 |
| 地域包括ケア病床 | 40床 |
| 在宅復帰機能強化型医療療養病床 | 55床 |

**◆設備**

- 胃内視鏡（経鼻内視鏡）
- マルチスライスCTスキャン
- デジタルX線透視装置
- 骨密度測定装置（DEXA法）
- 心臓・腹部超音波診断装置

**◆施設基準**

（基本診療科）
- 急性期一般入院料５
- 地域包括ケア入院医療管理料１
- 療養病棟入院基本料Ⅰ
- 急性期看護補助体制加算
- データ提出加算２
- 医師事務作業補助体制加算２
- 病棟薬剤業務実施加算
- 救急医療管理加算
- 診療録管理体制加算２
- 療養環境加算
- 療養病棟療養環境加算１
- 医療安全対策加算２
- 感染防止対策加算２
- 入退院支援加算１
- 後発医薬品使用体制加算１
- 重症者等療養環境特別加算
- 機能強化加算
- 認知症ケア加算２
- 入院時食事療養・生活療養Ⅰ

（特掲診療科）
- 小児科外来診療料
- 在宅療養支援病院
- 地域連携診療計画管理料
- 在宅時医学総合管理料
- 入院時食事療養（Ⅰ）／入院時生活療養
- 薬剤管理指導料
- がん性疼痛緩和管理料
- がん治療連携指導料
- 在宅がん医療総合診療料
- 在宅患者訪問看護指導料
- 無菌製剤処理料
- 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）
- 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
- 集団コミュニケーション療法
- 遠隔画像診断
- 排尿自立指導料
- 検体検査管理加算（Ⅰ）
- CT撮影及びMRI撮影

## 沿革

| | | |
|---|---|---|
| 1953年 | 8月 | 熊谷小児診療所開設 |
| 1961年 | 8月 | 移転新築・有床化（15床） |
| 1973年 | 10月 | 熊谷小児病院開設（55床）（未熟児室設置） |
| 1990年 | 4月 | 内科開設 |
| 1991年 | 7月 | 「熊谷生協病院」に名称変更 |
| 1992年 | 4月 | 熊谷医療生活協同組合→医療生協さいたまに合併 |
| 2000年 | 10月 | 熊谷生協病院移転新築（現在地） |
| | | 療養型病棟開設（医療療養３９床・介護療養１６床） |
| | | 通所リハビリテーション開設 |
| 2003年 | 11月 | ISO9001認証取得 |
| 2004年 | 4月 | 病院群輪番制小児二次救急指定 |
| 2005年 | 7月 | 医療機能評価Ver.４認定 |
| | 11月 | 電子カルテ導入 |
| 2006年 | 4月 | 一般病棟看護体制１０：１ |
| | | 禁煙外来開始 |
| 2007年 | 4月 | 療養病床から亜急性期病床へ９床転換 |
| 2008年 | 4月 | 特定健診・特定保健指導開始　経鼻内視鏡開始 |
| 2009年 | 4月 | １６列マルチスライスＣＴ導入（Pacs導入） |
| 2010年 | 7月 | 医療機能評価Ver.６認定 |
| 2014年 | 4月 | 亜急性期病床から地域包括ケア病床へ９床転換 |
| | 10月 | 医療療養39床を在宅復帰機能強化型療養病床へ転換 |
| | 10月 | 地域包括ケア病床９床から２４床へ拡大 |
| 2015年 | 6月 | 医療機能評価3rdG：Ver,1更新 |
| 2017年 | 4月 | 介護複合施設くまここ開設 |
| 2018年 | 4月 | 病児保育室こぐまちゃんち開設 |
| 2018年 | 4月 | 地域包括ケア病床24床から40床へ拡大 |

## 交通案内

**●電車でお越しの場合**

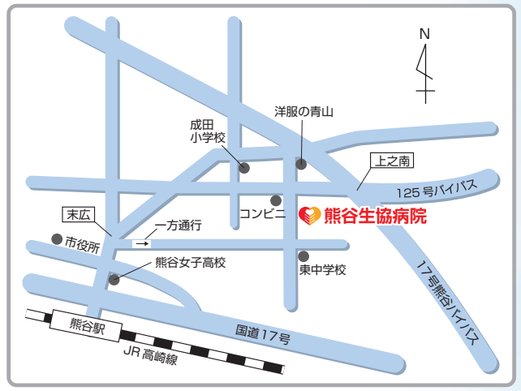
ＪＲ高崎線・上越新幹線・秩父線熊谷駅南口からから無料送迎バスを運行しています。

**●無料送迎バス**　所要時間20分

熊谷駅南口（全労済前）～市役所（中央公園入口）経由～ 熊谷生協病院

**●駐車場**

当院患者様専用無料駐車場（約100台）完備しております。




## 医療福祉生協のいのちの章典

**医療福祉生協とは**

医療福祉生協は、地域のひとびとが、それぞれの健康と生活にかかわる問題を持ちよる消費生活協同組合法にもとづく自治的組織です。医療機関・介護事業所などを所有・運営し、ともに組合員として生協を担う住民と職員の協同によって、問題を解決するための事業と運動を行います。

**いのちとくらしを守り健康をはぐくむための権利と責任**

いのちとくらしを守り健康をはぐくむために、以下の権利と責任があります。

**■自己決定に関する権利**

私たちは、知る権利、学習権をもとに自己決定を行います。

**■自己情報コントロールに関する権利**

私たちは、個人情報が保護されると同時に、本人の同意のもとに適切に利用することができるようにします。

**■安全・安心な医療・介護に関する権利**

私たちは、安全・安心を最優先にし、そのための配慮やしくみづくりを行います。

**■アクセスに関する権利**

私たちは、必要な時に十分な医療・介護のサービスを受けられるように社会保障制度を改善し、健康にくらすことのできるまちづくりを行います。

**■参加と協同**

私たちは、主体的にいのちとくらしを守り健康をはぐくむ活動に参加し、協同を強めてこれらの権利を発展させます。

2013年6月7日
日本医療福祉生活協同組合連合会
第3回通常総会にて確定


医療生協さいたま生活協同組合
**熊谷生協病院**

〒360-0012　埼玉県熊谷市上之3854　電話 048-524-3841（代）　FAX 048-524-8409
ホームページ http://www.kumagaya-hospital.coop/


b.t. 20203000

Kumagaya cooperative hospital

県北地域に安心と協同の創造を

# 熊谷生協病院 ご案内

介護複合施設くまここ

埼玉民医連　医療生協さいたま

## 病院理念　県北地域に安心と協同の創造を

**いついかなる時も利用者の権利を尊重し、そのニーズにふさわしいサービスを保健・医療・福祉の事業を通して誠実に提供します。**

## 基本方針

- 利用者の意思を尊重し「安全」「的確」な保健・医療・介護サービスを提供します。
- 情報公開と開示をすすめ、わかりやすく納得のいく説明を行います。
- 利用者の保健・医療・介護サービスへの参加をすすめます。
- 複合型医療施設の機能を充実させ、地域に開かれた病院として貢献します。
- 安心と信頼を提供できる職員を育成します。

## ごあいさつ

熊谷生協病院　院長　**小 堀 勝 充**

医療分野では、住み慣れた地域で暮らしながら通院や訪問診療などその人の希望にあった医療を受けられるようになる「地域包括ケアシステム」が2017年４月から本格的に始まりました。認知症や老衰で寝たきりの高齢者・超高齢者の方や、悪性疾患や難病で終末期の方々が住み慣れた自宅で最期を迎えられるようにすることが医療の中心になってきました。ご家族の温かい介護を受けながら最後まで在宅で過ごすことができるように訪問看護、訪問介護、訪問リハビリ、訪問診療がご家族をサポートしています。

自らの人生をどう生きてどうやって最期を迎えるのかを考える「人生会議」を元気なうちからご家族で話し合いましょうと言われるようになりました。

熊谷生協病院では超高齢社会を迎えて、在宅医療を充実させ、地域包括ケア病床と強化型療養病床を維持して、在宅から一般病床・地域包括ケア病床、強化型療養病床までの切れ目のない医療を行いさらに他医療機関との連携も強めています。

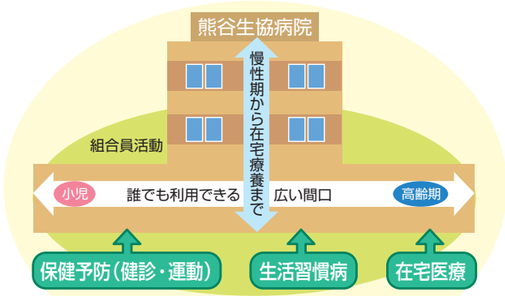
しかし現実には老老介護の高齢者家庭、認認（認知症同士の）介護の高齢者家庭、高齢者の独居など在宅医療にはまだまだ多くの問題が山積しています。これらの問題を解決する方法の一つとして熊谷生協病院では、小規模多機能型居宅介護施設「くまここ」を2017年４月に開設しました。ご利用者された方々にはおおむね満足していただけているようで一安心しています。

また、今までは専門病院で過ごしていた高度な医療を必要とする子どもたち（医療的ケア児）も専門病院から自宅へ帰ることが多くなりました。熊谷生協病院では高齢者と一緒に小児の訪問診療もさらに充実しています。

男女ともに働きやすい男女共同参画社会を目指して、働くお母さんお父さんを支援するために急な病気のお子さんたちを預かる病児保育室も必要とされていました。2018年4月より熊谷市の委託事業として開設した病児保育室「こぐまちゃんち」は、３年目を迎えようとしています。毎日元気な（?）病児が遊びに来ています。

熊谷生協病院では病院の中で医療を行うだけではなく、乳幼児から高齢者までの在宅医療を支えられる病院として質の高い医療を提供し、子どもから超高齢者までが一緒に健康で住みやすい街を地域の皆様と一緒に作りたいと考えています。

地域の皆様がご自身やご家族の健康に不安があるときに役に立てる病院作りを目指して、職員一同「ONE　TEAM」でがんばっていきたいと思います。




熊谷生協病院イメージ図



# HPH※加盟病院として、健康なまちづくりに貢献してまいります。

## 健康増進事業（HPH）

WHO（世界保健機構）が提唱するヘルスプロモーションを推進する病院です。

患者・住民・スタッフに対して健康づくりに取り組んでいます。街かど健康チェックや予防活動、仲間づくり活動に取り組んでいます。

- ●認知症サポーター
- ●ロコモ予防体操（転倒、膝痛、腰痛筋力低下予防）
- ●子育て支援
- ●フレイル予防

## 外来

### ●内科

高血圧・糖尿病・脂質異常症・呼吸器などの慢性疾患を中心とした内科診療を行っています。診察した結果や検査、薬の情報を共有しながら利用者の意向が尊重される医療サービスを行っています。

### ●小児科

子どもの生活相談、生活指導も視野に入れた小児医療を行っています。隔離室も5室準備し、感染の予防に努めています。アレルギー外来、脳神経外来、乳児健診、子育て支援活動も行っています。保育園の園医として子どもの健診を実施し、健診結果返しでは父兄・保育士向けに学習会開催等の活動もしています。

### ●頭痛・めまい外来

### ●物忘れ・小刻み歩行外来

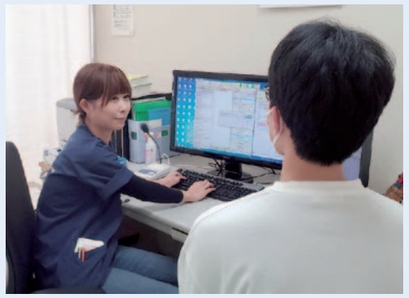
### ●訪問診療（内科・小児科）

在宅で療養されている方のお宅に医師・看護師が訪問します。

## 健康診断について

いつまでも健康で生き生きと暮らして行けるように、生活習慣病やガンの早期発見、健康増進のための生活改善や「自分らしく生きる」ための健康づくりを支援しています。

- ●企業定期健康診断　●特定健診・国保ドック　●物忘れ健診
- ●組合員健診（希望により、胃検診・超音波検査など追加可能）
- ●被爆者健診　●人間ドック　●特定保健指導　●乳児健診



※ＨＰＨ：（Health　Promoting　Hospital）健康増進活動拠点病院
患者や地域住民、病院で働く職員に対して、病院に関わる全ての人々の健康づくりを支援する活動です。

～人生のあらゆるステージで、
全人的な医療と生活のサポート～

# 多職種協働のチーム医療を実践しています。

個室料・差額ベッド料はいただいておりません。
病室は病状に合わせて利用されています。

## 3階病棟

### ●一般病床・地域包括ケア病床

急性期疾患の治療、回復を目的とした内科一般病床（10床）。急性期治療後からの受け入れ、在宅療養されている患者様の受け入れ、在宅復帰支援の3つの機能を有する地域包括ケア病床（40床）があります。

リハビリ目的での転院の相談も承っています。病気の治療と並行して可能な限り早期からリハビリテーションを行います。

## 2階病棟

### ●医療療養病床（在宅復帰機能強化型医療療養病棟）

急性期医療等の治療後、継続的な医療提供の必要性があり、在宅療養へ移行する準備が必要な方、施設への入所待機中の方、悪性腫瘍を中心とした終末期ケアの必要な方などを対象に、安心して療養していただける入院環境を備えた病棟です。お花見や夏祭りなど季節毎の行事や毎月の誕生会を開催しています。多職種で連携し、在宅復帰に向けた支援を行っています。

### ① 入院前

予約入院の患者様については、医師・看護師・薬剤師・理学療法士・事務・医療相談員の多職種で検討し、入院の受け入れを行っています。入院前の病状だけでなく、患者様・ご家族の意向や生活状況、社会資源の活用状況等も確認しておく事で、入院前から積極的に介入して問題解決に取り組んでいます。

### ② 入院時

**外来看護科**　患者様の状態を把握し、医師の指示で検査を行います。また、患者様のADL（日常生活動作）や家族状況などの情報から、必要なコメディカルの介入について検討を行い病棟に申し送りを行っています。

**食養科**　入院時に管理栄養士が食物アレルギーの有無や、嗜好、咀嚼や嚥下の状況を確認し、安心安全な食事の提供と栄養管理につなげています。また、入院後も食事摂取状況を確認など早期に管理栄養士が介入し栄養面のサポートを行っています。

**薬剤科**　入院時に自宅での薬の服用状況や副作用歴を確認し、医師へ情報提供を行っています。また、薬の相互作用評価や投与量の提案を行い、安全で適切な薬の使用を心がけています。

**リハビリテーション科**　入院当日に、全身状態の確認や病前ADL（日常生活動作）など情報収集した上で評価を行い、セラピストの介入基準に照らし、できるだけ早期に理学療法・作業療法・言語聴覚療法の提供をして身体機能改善や日常生活動作の低下防止に努めています。

### ③ 入院中

入院中の患者様の病状や退院後の生活について、多職種（医師・看護師・薬剤師・医療相談員・作業療法士・理学療法士・管理栄養士・言語聴覚士・歯科衛生士等）でのカンファレンスを1回/週行っています。患者様の意思を尊重しながら、安心して退院後の生活を送って頂けるよう支援致します。

### ④ 退院時

病状経過により医療処置や要介護状態が重度化した患者様でも、病院内の多職種と在宅サービスを担う関係機関の方々との密な連携を通して、患者様・ご家族が安心して在宅療養できるように提案していきます。また、在宅への退院が困難な方の場合、介護施設等への退院支援を行っています。

# 訪問診療のご案内

## 「やっぱり家がいい」そのお気持ちを大事にします

家族とともに暮らす空間には、患者様の体調を安定させる力があります。ご家族の気配、住み慣れた室内、日常生活の音とにおい…このような当たり前の空間が患者様の心身を癒してくれます。

当院の訪問診療では、患者様のお言葉にじっくりと耳を傾け、納得、満足のいく医療の選択肢を提供し、患者様、ご家族とともに治療方針を考えていきます。歯科医師と連携し、最後まで口から食べることに取り組みます。訪問看護やケアマネージャーなどの他職種と連携し安心して療養生活を送ることができるよう支援していきます。

### 対応可能な医療

- ●在宅酸素療法
- ●褥瘡の管理
- ●気管切開チューブの管理
- ●小児慢性疾患
- ●ターミナルケア
- ●胃ろうの管理
- ●中心静脈栄養の管理
- ●膀胱留置カテーテルの管理

1日1笑をモットーに

## 通所リハビリテーション（デイケア）

## くまここ

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の様々な事業所と連携しながら実施しています。充実したリハビリ機器・専門スタッフと共にリハビリを実施します。合わせて生活リハビリにも力を注ぎ「生活機能の向上」をサポートいたします。

医療生協さいたまの県北地域の病院として、

## 医療福祉、介護のネットワーク

### 行田協立診療所

- ●内科
- ●訪問診療
- ●通所リハビリ（デイケア）

### 行田協立診療所 歯科

- ●訪問歯科診療
- ●入れ歯の作製調整・修理など
- ●歯周病治療
- ●口腔ケア
- ●虫歯の治療など

### 熊谷生協 ケアセンター

- ●居宅介護支援事業（ケアマネジャー）
- ●訪問看護（看護師、助産師、保健師）
- ●訪問看護リハビリステーションここリハ（看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）
- ●訪問介護
- ●小規模多機能型居宅介護

### ケアセンター さきたま

- ●居宅介護支援事業（ケアマネジャー）
- ●訪問看護（看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）
- ●小規模多機能型居宅介護
- ●訪問介護

### 深谷生協 訪問看護 ステーション

- ●訪問看護（看護師、理学療法士）

### 介護複合施設くまここ

- ●通所リハビリテーション
- ●ケアセンター

### 熊谷生協病院

- ●病床数（105床）
- ●訪問診療
- ●内科・小児科
- ●病児保育

## 病児保育室 こぐまちゃんち

熊谷市の委託事業として2018年に開設しました。お仕事などでどうしても休めないお父さんお母さんに代わり、お子様たちを家庭にいるようなあたたかい雰囲気で保育しています。

保育室には3つのお部屋があり、感染症の場合は別室での対応をさせていただきます。

また、通所している保育所等へお迎えに行く「送迎病児保育事業」も行っています。